

参考資料

小川自治会自主防災隊

自主防災隊は何のためにあるのか

これは皆さんの黒板として活用して下さい。
新しいことが見つかったら追加します。
不要になったことは「黒板拭き」で消します

2013年6月27日現在

自主防災隊は何をするのか？

(危機意識/想定被害) + (知識/道具) ⇒ (自主防災隊のやる気)

想 定	災 害	減災準備	緊急時		自主防災隊
何を想定 ＜地震＞	電気止まる (7日間)	LEDランプ 懐中電灯	マ	 何をどうするか？	情報・広報
どんな基準 ＜震度6＞	ガス止まる (60日間)	ガスコンロ 木炭コンロ	ニ		給水・給食
小川で 起こること	水道が止まる (30日間)	飲料水 雑用水	ユ		避難・誘導 救出・救護
あなたの家 で起こる事	家が倒れる	ヘルメット 硝子対策	ア		防火・消火
火災津波も	火事が起こる	消火器設置 防火用水	ル		機材備蓄

何を想定しての防災(減災)か

- 大地震
 - 震度が5以下しかないなら、減災は要らない
 - 震度8? は無いのではないか
 - すると 震度6~7を考えるのですね。
- 火災・・・地震に伴う延焼火災(火災津波！)
- 他に何が・・・
 - 台風・竜巻・豪雨・・・後で振り返る時まで考えない

多摩直下型地震(M7.3)震度:6弱~6強

首都直下地震の概要

現在の予想

名 前	元禄型関東地震	多摩直下地震
町田の震度	< 6 強 >	< 6 弱 >
規 模 (マグニチュード)	M 8. 2	M 7. 3
震 源	？ ？	約20～35km
発生頻度	1885年から2004年の119年間に 5回発生 （南関東において）	
発生確率	今後30年以内に70%	

小川の被害想定

「もし阪神淡路大震災並みのM7.3の地震が発生したら」

前提:小川自治会地区:世帯数1,700(会員1,220+非会員推定500弱)
人口推定 5,000人

項目	算出根拠	被害想定数
死者数	人口 $\times$ 0.25%	13人
負傷者数	死者数 $\times$ 7.2	95人
内重傷者数	死者数 $\times$ 1	13人
家屋全壊数	家屋数 $\times$ 21.5%	366軒
要救出現場数	全壊数 $\times$ 40%	164軒
避難者数	人口 $\times$ 8%	400人
出火件数(初期)	家屋数 $\times$ 0.051%	1軒

シミュレーションモデル:京都大学防災研究所 西宮市の指数使用 水害は前提になし
注)発生 の時間帯によって大きく変わる 林 紀史さん作成

防災・減災レベルの基準は？

「あなたの自助レベル」が高いほど減災？

被害の 程度		地震の強さ ⇒			
		震度5	震度6弱	震度6強	震度7
自助レベル ↓	無(0%)	○	△	×	× ×
	可(30%)	問題なし	○	△	想定外
	良(70%)		◎	○	
	優(100%)		◎	◎	

<人に迷惑は掛けられない！>

気象庁 震度階級 関連解説表

<通常発生する現象や被害>

大澤紀雄さんから提供された資料

階級	人間	屋内の状況	屋外の状況
5 強	* 非常に恐怖を感じる。 * 多くの人が行動に支障を感じる	* 棚の食器、本が落ちる。 * テレビが台から落ち散る。 * 筆筒などの重い家具が倒れることがある。 * 一部の戸が外れる。	* 補強されてないブロック塀の多くが倒れる。 * 据付が不十分な自動販売機が倒れることがある。 * 多くの墓標が倒れる。 * 自転車の運転が困難。
6 弱	* 立っていることが困難になる	* 固定してない重い家具が移動、転倒する。 - 開かなくなるドアが多い。	* かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
6 強	* 立っていることが出来ず、這わないと動くことが出来ない	* 固定してない重い家具のほとんどが移動、転倒する。 * 戸が外れて飛ぶことがある。	* 多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。 * 補強されてないブロック塀のほとんどが崩れる。

「地震はいつ起きるか」誰も判らない

	春	夏	秋	冬
朝				阪神・淡路 1955. 1. 17
昼	東日本 2011. 3. 11	関 東 1923. 9. 1		
夕	←		↑ ↓ ☆ 決心	→
晩				

どこかに決めて、準備し、ときどき周辺を考える
いろいろな意見を聞いて、どう助かるか？・・・それも自助の精神！！

突然 大地震が起きた！！

～～小川地区で起きると予想される被害～～
～～多分！？あなたの家で起こる被害～～

- (A)電気が止まる(停電！！7日)
- (B)ガスが止まる(60日)
- (C)水道は止まる(断水！！30日)
- (D－1)家が倒れる
- (D－2)家財が家の中で倒れる
- (D－3)屋外の壁や物置が倒れる
- (E－1)火災が起きる(放任火災)
- (E－2)隣の火災の延焼(火災津波)
- (F)物流が止まる
- (G)電話が止まる(14日)

赤字は町田市の
減災目標
【ライフラインの
回復達成目標日数】

2013年1月21日広報「まちだ」第1711号

時間があるのは大地震前の「予防」

どちらかと言え
ば、こちらが先！！

多少、お金を使えば、
労力を惜しまなければ、
いくらでも完璧が出来る

大地震発生

緊急事態！
やれることは
準備の50%

広報	防災マップの徹底・連絡網	訓練	情報伝達
避難	安全な避難の方法を企画	訓練	救助活動
防火	消火設備の完備・管理	訓練	消火活動
備蓄	飲料水・食料の備蓄	訓練	配給

時刻

<<余震多発>>

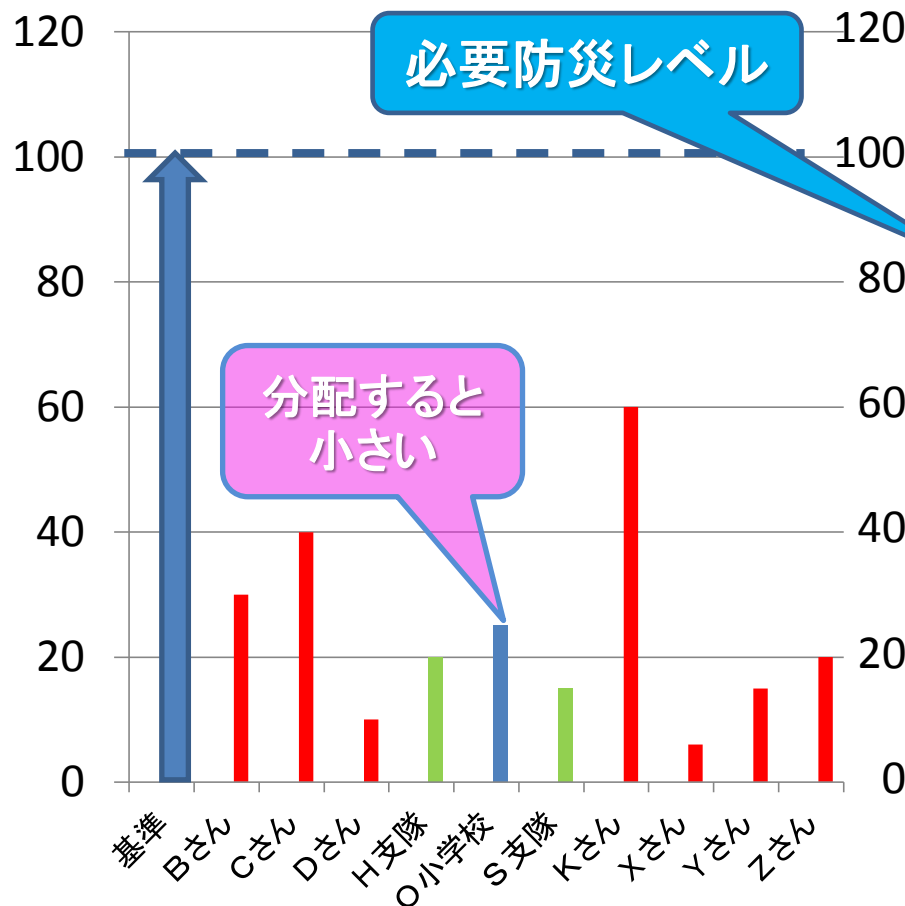
静体制（予防）と動体制（緊急）

どちらも必要：大地震対策として

減災のための予防		事後緊急処置
企画力が必要・時間がある		体力・勇気が必要
広報	実例から被害予測を！	緊急時のマニュアル 通報・避難・消防・支給 が一体になってやる 訓練結果で改善する
避難	被害を少なくする対策！	
防火	放任火災をどう止めるか！	
備蓄	どうすれば上手く備蓄が！	

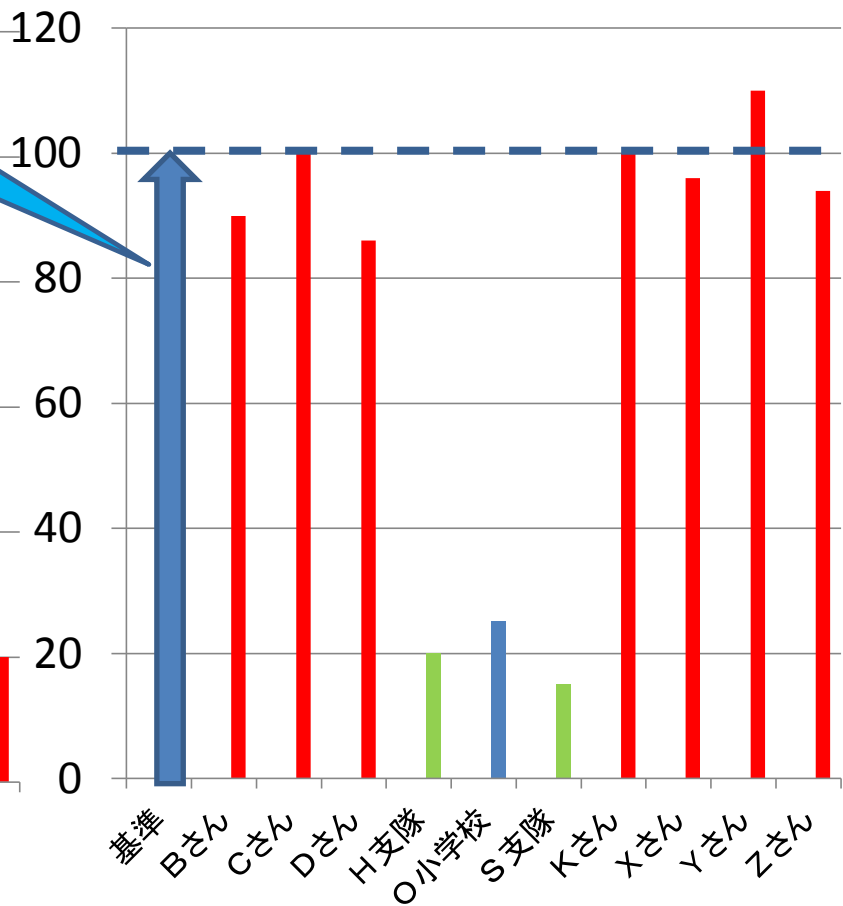
自助による防災備蓄(小川の防災力)

< 現 状 >



小学校・自治会では備蓄不十分

< 目 標 >



自助の備蓄が減災に効果

あなたの防災力 ⇒ 小川の防災力

あなたの備蓄力 ⇒ 小川の備蓄力

あなたの防火力 ⇒ 小川の防火力

小川自治会の防災体制の経過

平成23年

2011. 04. 17 平成23年度 小川自治会定期総会
事業計画の重点施策として防犯に続き【本格的自主防災体制確立】を決定
2011. 06 防災体制検討会議設立 ～2012. 03 (4回の会議開催)
2011. 10. 16 防災訓練(約100名参加) 蜂谷戸公園にて
2011. 11. 13 町田市主催の 防災講座 開催 (約40名参加)(講師:長田 博さん)

平成24年

2012. 04. 15 平成24年度 小川自治会定期総会
事業計画の重点施策として本年度も【本格的自主防災体制確立】を決定
2012. 05 【小川防災マップと安全ノート】を全戸に配布
2012. 08～09 自治会員全員対象の防災アンケート実施
*回答率:53%、何らかの形で活動可能と答えた人325名
2012. 08. 12 防災検討会議 5公園支隊体制に決定
*本部及び各支隊長 暫定案 決定
2012. 10. 14 防災訓練(例年より大幅増の約120名参加) 蜂谷戸公園にて
自主防災隊 キックオフ(約40名参加)
「検討会議」を「活動準備会議」へ移行
2012. 11. 11 小川自治会 自主防災隊 活動準備会議【第1回】
*防災講座開催(約70名参加)(講師:長田 博さん)

平成25年

2013. 01. 20 小川自治会 自主防災隊 活動準備会議 【第2回】
*各支隊の範囲を決定。「防災隊は何をするか」PPT説明
2013. 02. 17 小川自治会 自主防災隊 活動準備会議【第3回】
*規約の最終版決定、「かえで隊の組織案」を説明
2013. 03. 10 小川自治会 自主防災隊 活動準備会議【第4回】
2013. 04. 21 小川自治会 自主防災隊 責任者全体会議

小川自治会の防災マップと安全シート

(平成24年5月 全員配布!)

ガラス飛散
防止処置

火災発生防止
のための
感震ブレーカー



長田 博 さんの講演会

命を救うのは 防災に強い ご近所の防災ネットワーク

自治会で2回実地【2011年11月13日(日)】と【2012年11月11日(日)】

長田さんの要旨

- 行政指導型による受け身の住民意識と「過剰期待」
- 役員持ち回りの機能不全
- 小さい組織(支部、班)でやる「顔の見える防災」を
- 町内会組織に独立組織を確立・防災だよりの発行
- 被害想定からの減災意識・(自助・共助)啓蒙活動
- 訓練が重要・ご近所の防災ネットワーク



5(公園)支隊の小川自治会自主防災隊

小川自治会自主防災隊の組織

小川自治会 自主防災隊 本部

せんげん支隊

下小川支隊

かえで支隊

蜂谷戸支隊

柳谷戸支隊

青パト防災機動隊

各支隊は
5つの防災班から
構成される

ご近所の防災ネット
ワークを組織する
小さい組織で！
きめ細かく！！

5つの防災班とは・・・

情報・広報班
救出・救護班
避難・誘導班
防火・消火班
給食・給水班

万全の予防に加えて、大地震
が起きた時にどうするか？

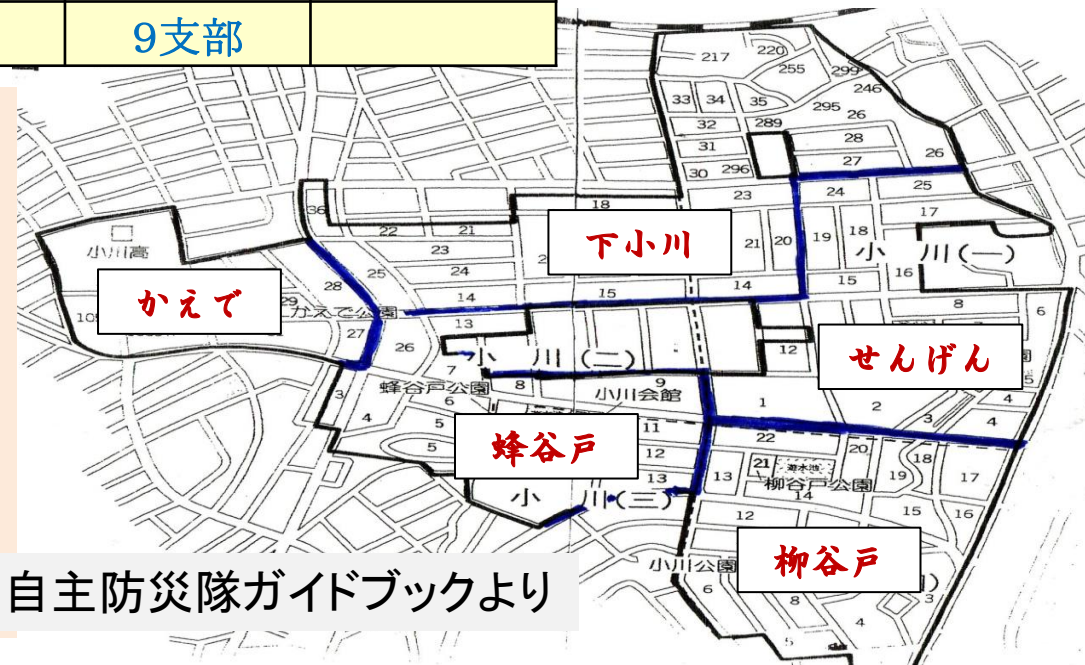
～緊急マニュアル～

「被害を小さくする活動」と「緊
急時のどうするかを企画し訓
練すること」も役割です。

5支隊とは(せんげん・下小川・かえで・蜂谷戸・柳谷戸)

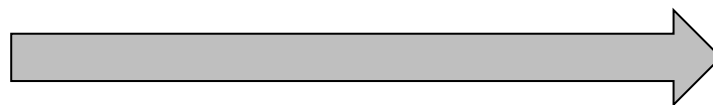
支 隊	支 部 ・ 班					
せんげん	1支部 5班	1支部 6班	1支部 10班	2支部	8支部 3班	8支部 4班
下小川	1支部 1班	1支部 2班	1支部 3班	1支部 4班	1支部 7班	3支部
	8支部 1A班	8支部 1B班	8支部 2班	8支部 5班	8支部 6班	11支部
かえで	10支部					
蜂谷戸	4支部	7支部				
柳谷戸	5支部	6支部	9支部			

会員はすべて自治会の
支部・班単位で
5支隊のいずれかに所属し
その支隊の名前の公園が
一時避難場所となる



防災隊本部と各支隊の関係

大まかな指示・
一時的な決断



危機意識から
問題点を提示

本部

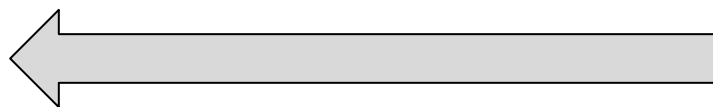
リーダーシップ

目的は減災だ！！
共にありたい姿を
追求し、改善する

フォロアーシップ

支隊

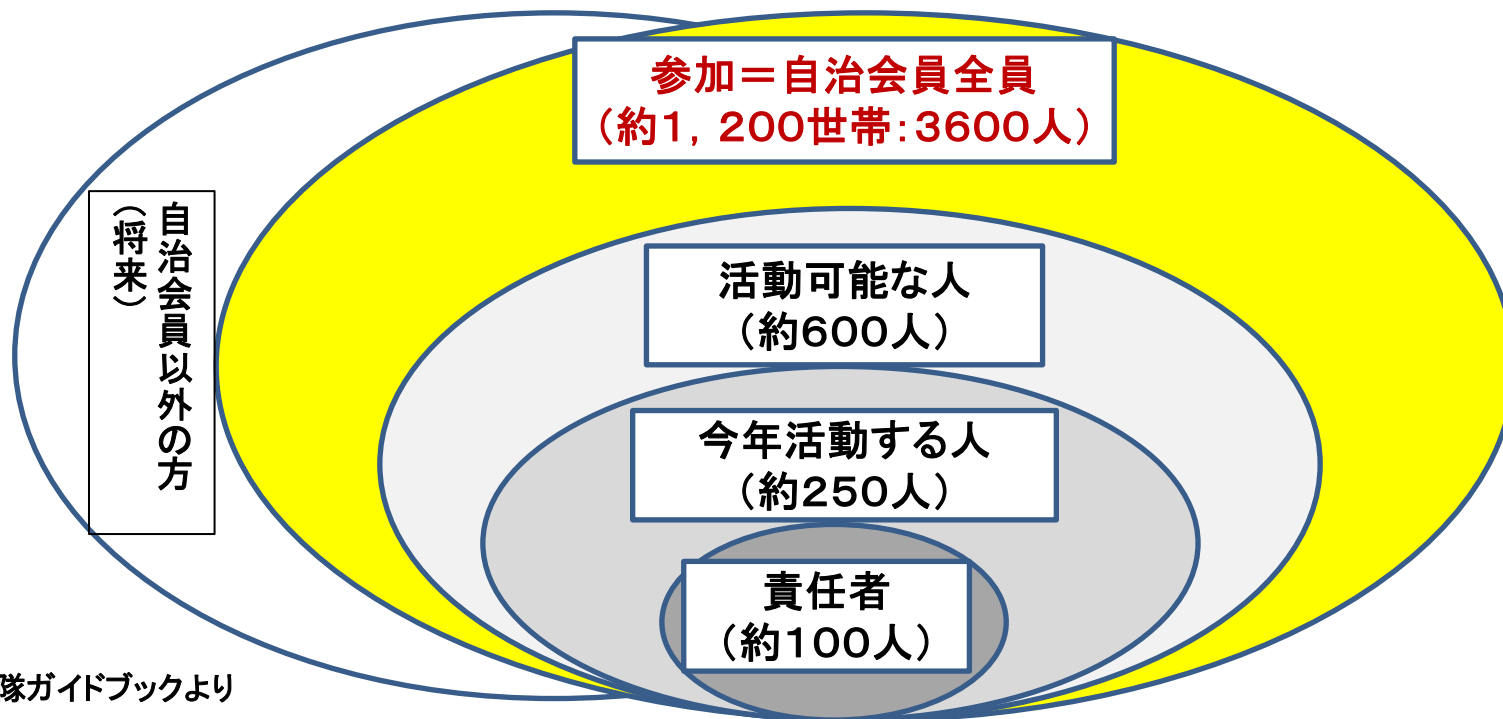
危機意識を
持って、出来
る解決を提案



現状報告／意見・提案

なぜ防災隊に自治会員は全員参加か

高齢、要介護者がいる、小さい子供がいる、共働きで時間がない、消防団所属職場の防災要員で緊急時は職場優先、そのほかさまざまな理由で活動できない方も、自治会員の方には全員自主防災隊に参加していただき、**緊急時には協力しあう(共助)体制**を目指します。将来は自治会の地域にお住まいで自治会には加入していない方にも加入していただく方針。



(付)防災隊と自治会の協力

メンバーは同じ人、協力し合って予防・準備・緊急時の支援

＜蜂谷戸支隊の例＞

防災支隊長
防災班長
防災隊員

—— 企画・情報収集・準備

A

自治会班組織

B

自治会班組織

C

自治会班組織

—— * 緊急時に班員の
現状調査・連絡

* 通常時の
広報やアンケート

(付)小川小学校避難所

体育館 703m²・収容可能人数 426人

小川小学校避難所 救援救護活動拠点(仮救護所)			
コープタウン	小川富士見台	小田急金森	小川自治会
約500 世帯	405 世帯	225 世帯	1237 世帯
合計2367世帯			

小川の想定枠は
222人

あまり大きくない！！

$$426人 \times 1237世帯 \div 2367世帯 \\ = 222人$$

自主防災組織名	編成年月日	世帯数
鶴間町内会自主防災隊	1979.8	1,805 世帯
町谷町内会自主防災隊	1979.5	714 世帯
南町田ハイタウン自衛消防隊	1983.5	145 世帯
南町田自治会自主防災隊	1979.5	433 世帯
原町内会自主防災隊	1979.9	620 世帯
小川自治会自主防災隊	1980.4	1,237 世帯
町田コープタウン自治会自主防災隊	1979.5	[488 世帯]
西小川親和会自主防災隊	1991.6	109 世帯
小川富士見台自主防災隊	1979.5	405 世帯
京浜小川自治会自主防災隊	1983.4	45 世帯
成瀬が丘自治会自主防災隊	1979.11	965 世帯
金森 1 丁目町内会自主防災隊	1979.12	474 世帯
金森 2 丁目町内会自主防災隊	1980.8	1,645 世帯
金森 3 丁目自主防災隊	1979.5	210 世帯
小田急金森自主防災隊	1979.6	225 世帯
西田町内会自主防災隊	1979.11	694 世帯
都営金森第 4 自治会自主防災隊	1985.12	[64 世帯]
西田団地自治会自主防災会	1980.5	130 世帯
金森さつき会防災会	1980.1	125 世帯
金森協和会自治会自主防災隊	1981.3	60 世帯
金森親和会自主防災会	1979.10	270 世帯
金森互助会自主防災会	1979.6	39 世帯
金森むつみ会自主防災隊	1979.11	72 世帯
金森第 5 自治会自主防災隊	1987.6	234 世帯
小田急金森泉自治会自主防災隊	1979.6	369 世帯
都営町田金森 1 丁目アパート いすみ会自主防災隊	1979.4	143 世帯
金森第 7 南自治会自主防災隊	1989.4	85 世帯
南つくし野自治会防災本部	1981.7	1,245 世帯
つくし野 1・2 丁目自治会自主防災隊	1981.12	723 世帯
つくし野 3 丁目自治会自主防災隊	1979.5	[406 世帯]
つくし野 4 丁目自治会自主防衛隊	1979.5	452 世帯
つくし野 2 丁目自治会自主防災隊	1979.6	209 世帯
つくし野ファミリーハイツ 4・5・6 自主防災会	1983.1	[30 世帯]
成瀬が丘みどり自主防災隊	1993.4	13 世帯
都営金森第 6 自治会自主防災隊	1996.4	290 世帯
金森第三自主防災隊	1996.4	109 世帯

(付)南地区の 自主防災隊

自主防災組織名	編成年月日	世帯数
都営町田小川アパート自主防災隊	1997.4	56 世帯
金森第 8 団地自治会防災部	1997.5	235 世帯
金森市営住宅管理組合自主防災隊	1997.9	125 世帯
都営金森第 6 楼自治会自主防災隊	1998.8	196 世帯
すすかけ自治会自主防災隊	1998.12	135 世帯
金森第 9 自主防災隊	1999.8	67 世帯
都営金森 1 丁目アパート 17 自治会自主防災隊	2000.4	114 世帯
金森第 11 住宅第 2 自治会自主防災隊	2001.7	160 世帯
金森第 11 自治会自主防災隊	2001.7	92 世帯
グランセリーナ管理組合自主防災隊	2003.7	412 世帯
小田急金森わさびだ自治会自主防災隊	2005.3	112 世帯
ガーデンセシア自主防災隊	2006.9	686 世帯
ソフィアすすかけ台ソルフェージュ自主防災隊	2006.9	95 世帯
つくし野ローズプラザ自主防災隊	2008.4	36 世帯

未完成！！

今日は、ここまでです

改良・改善のご意見ある方、間違いに気付いた方
「自治会のメール」欄か、防災隊本部へ